

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月17日

上場会社名 株式会社 静岡銀行
 コード番号 8355 URL <http://www.shizuokabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 中西 勝則
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 一杉 逸朗
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月27日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日
 特定取引勘定設置の有無 有

上場取引所 東

TEL 054-261-3131

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	115,237	△8.5	20,679	△41.4	11,729	△39.7
19年9月中間期	125,988	13.1	35,345	△1.8	19,453	15.2

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円 銭		円 銭	
20年9月中間期	16.80		16.79	
19年9月中間期	27.46		27.46	

(参考) 持分法投資損益 20年9月中間期 △263百万円 19年9月中間期 △187百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率(国際統一基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	8,924,975	699,595	7.6	977.50	14.56
20年3月期	9,098,425	717,391	7.7	1,003.78	14.70

(参考) 自己資本 20年9月中間期 682,252百万円 20年3月期 700,783百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注)「連結自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	△8.2	44,500	△31.6	25,200	△27.4	36.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年9月中間期	710,129,069株	20年3月期	710,129,069株
② 期末自己株式数	20年9月中間期	12,173,503株	20年3月期	11,985,841株
③ 期中平均株式数(中間期)	20年9月中間期	698,076,555株	19年9月中間期	708,280,470株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
20年9月中間期	101,537	△7.2	19,051	△42.0	11,607	△39.0
19年9月中間期	109,447	15.7	32,899	△0.1	19,047	18.2

	1株当たり中間純利益
	円 銭
20年9月中間期	16.62
19年9月中間期	26.89

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	単体自己資本比率(国際統一基準)
	百万円	百万円	％	円 銭	％
20年9月中間期	8,861,511	677,868	7.6	971.08	14.28
20年3月期	9,026,395	696,247	7.7	997.20	14.45

(参考) 自己資本 20年9月中間期 677,774百万円 20年3月期 696,189百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注)「単体自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	198,000	△7.2	41,500	△32.7	25,000	△28.9	35.81

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想数値とは異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当中間期における国内経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速、原油・原材料価格の高騰による企業収益の圧迫に加え、ガソリンや食料品価格の上昇による物価高で個人消費も弱含むなど、景気後退局面へと転じました。

静岡県経済につきましても、こうした経済環境の変化に加え、景気けん引の主力となっていた輸送用機械や工作機械など輸出産業が後退するなど、景気の減速感が一段と強まっています。

このような経営環境のもと、当中間期の静岡銀行グループの連結経常収益は、「その他経常収益」を中心に前年同期比107億51百万円減少し、1,152億37百万円となりました。また、連結経常費用は、「資金調達費用」が減少したものの、「その他経常費用」を中心に前年同期比39億14百万円増加し、945億58百万円となりました。

この結果、連結経常利益は前年同期比146億65百万円減少し、206億79百万円、連結中間純利益は前年同期比77億24百万円減少し、117億29百万円となりました。

これにより、当中間期の1株当たり連結中間純利益は16円80銭となりました。

グループの中核である静岡銀行の利益は以下のとおりです。

経常収益は、株式等売却益などの「その他経常収益」を中心に、前年同期比79億10百万円減少し、1,015億37百万円となりました。また、経常費用は、「資金調達費用」が減少しましたが、株式等償却などの「その他経常費用」を中心に前年同期比59億37百万円増加し、824億85百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比138億47百万円減少して、190億51百万円、中間純利益は前年同期比74億39百万円減少し、116億7百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

○資産・負債・純資産の状況

静岡銀行グループの平成20年9月末の資産は、貸出金は前年度末比1,310億円増加しましたが、静岡銀行のコールローン、有価証券を中心に前年度末に比べ1,734億円減少し、8兆9,249億円となりました。負債につきましても、静岡銀行の預金、譲渡性預金を中心に、前年度末に比べ1,556億円減少し、8兆2,253億円となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金の減少により、前年度末に比べ177億円減少し、6,995億円となりました。

グループの中核である静岡銀行の主要勘定の特徴は以下のとおりです。

○貸出金

地域とともに歩む金融機関として、地域のさまざまな資金ニーズに適切におこたえする積極的な貸出業務の運営につとめてまいりました。とくに、住宅ローンを中心とする個人向け貸出が順調に推移し、前年度末に比べ628億円増加したことに加え、中小企業向け貸出も前年度末に比べ297億円増加しました。この結果、当中間期末の総貸出金残高は前年度末に比べ1,416億円増加し、6兆834億円となりました。

○預金等

当中間期末の総預金残高は、公金預金を中心に前年度末に比べ709億円減少し、6兆9,066億円となりました。

このうち、個人のお客さまにつきましては、多様化する資金運用ニーズにおこたえするため、円貨預金に加え、個人年金保険を中心とした預り資産の販売につとめてまいりました。この結果、円貨預金、譲渡性預金を含めた個人のお客さまの預り資産残高は、前年度末に比べ826億円増加し、5兆9,175億円となりました。

○有価証券

有価証券につきましては、世界的な金融システム不安が高まるなか信用動向には十分に留意し、健全かつ安定的なポートフォリオの運営につとめてまいりました。

当中間期末の有価証券残高は、国債、地方債を中心に増加しましたが、株式、投資信託は相場下落の影響などにより減少しました。

この結果、当中間期末の有価証券残高は、前年度末に比べ734億円減少し、2兆1,260億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

静岡銀行グループの平成21年3月期の業績見通しは、経常収益2,250億円、経常利益445億円、当期純利益252億円を予想しております。

このうち静岡銀行単体では、平成21年3月期の経常収益は1,980億円、経常利益415億円、当期純利益250億円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当ありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同実務対応報告を適用しております。これによる中間連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

② リース取引に関する会計基準

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。また、当該取引に係る借手のリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる中間連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、借手側では、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っております。また、貸手側では、前連結会計年度末における固定資産の適正な帳簿価額(減価償却累計額控除後)を「リース債権及びリース投資資産」の期首の価額として計上しております。

5. 中間連結財務諸表

(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	298,572	288,011
コールローン及び買入手形	1,708	185,000
買入金銭債権	112,127	142,964
特定取引資産	67,118	69,278
有価証券	2,146,443	2,222,702
貸出金	6,063,895	5,932,895
外国為替	8,811	3,956
リース債権及びリース投資資産	32,215	—
その他資産	77,809	90,632
有形固定資産	69,203	97,751
無形固定資産	18,316	19,842
繰延税金資産	2,874	2,932
支払承諾見返	86,836	101,453
貸倒引当金	△60,857	△58,887
投資損失引当金	△101	△108
資産の部合計	8,924,975	9,098,425
負債の部		
預金	6,926,395	7,007,219
譲渡性預金	193,670	334,230
コールマネー及び売渡手形	293,444	164,423
債券貸借取引受入担保金	144,803	70,703
特定取引負債	27,651	31,720
借入金	273,635	334,116
外国為替	144	282
社債	116,070	150,112
その他負債	121,605	124,984
退職給付引当金	22,762	22,925
睡眠預金払戻損失引当金	1,067	928
偶発損失引当金	821	445
特別法上の引当金	11	11
繰延税金負債	16,458	37,477
支払承諾	86,836	101,453
負債の部合計	8,225,379	8,381,034
純資産の部		
資本金	90,845	90,845
資本剰余金	54,893	54,887
利益剰余金	465,716	458,525
自己株式	△12,378	△12,163
株主資本合計	599,077	592,095
その他有価証券評価差額金	83,478	108,950
繰延ヘッジ損益	9	△218
為替換算調整勘定	△312	△44
評価・換算差額等合計	83,175	108,688
新株予約権	94	57
少数株主持分	17,248	16,549
純資産の部合計	699,595	717,391
負債及び純資産の部合計	8,924,975	9,098,425

(2)【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	125,988	115,237
資金運用収益	86,258	84,030
(うち貸出金利息)	60,848	61,863
(うち有価証券利息配当金)	22,943	19,543
信託報酬	0	0
役務取引等収益	24,864	22,440
特定取引収益	1,085	1,092
その他業務収益	2,334	2,789
その他経常収益	11,446	4,884
経常費用	90,643	94,558
資金調達費用	25,799	19,870
(うち預金利息)	14,503	12,386
役務取引等費用	11,033	9,838
その他業務費用	1,185	2,846
営業経費	42,435	43,772
その他経常費用	10,189	18,229
経常利益	35,345	20,679
特別利益	199	10
固定資産処分益	—	0
償却債権取立益	—	5
その他	—	4
特別損失	1,806	572
固定資産処分損	—	512
減損損失	—	1
その他	—	58
税金等調整前中間純利益	33,738	20,116
法人税、住民税及び事業税	14,322	12,048
法人税等調整額	△987	△4,385
法人税等合計	—	7,662
少数株主利益	949	725
中間純利益	19,453	11,729

(3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
資本剰余金		
前期末残高	54,940	54,887
当中間期変動額		
自己株式の処分	7	5
当中間期変動額合計	7	5
当中間期末残高	54,947	54,893
利益剰余金		
前期末残高	444,100	458,525
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,453	11,729
当中間期変動額合計	13,787	7,191
当中間期末残高	457,888	465,716
自己株式		
前期末残高	△9,439	△12,163
当中間期変動額		
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	13	71
当中間期変動額合計	△115	△215
当中間期末残高	△9,555	△12,378
株主資本合計		
前期末残高	580,447	592,095
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,453	11,729
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	21	77
当中間期変動額合計	13,678	6,981
当中間期末残高	594,126	599,077
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	188,727	108,950
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△13,347	△25,472
当中間期変動額合計	△13,347	△25,472
当中間期末残高	175,380	83,478
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	153	△218
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	2	227
当中間期変動額合計	2	227
当中間期末残高	156	9
為替換算調整勘定		
前期末残高	△72	△44
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	222	△268
当中間期変動額合計	222	△268
当中間期末残高	150	△312

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等合計		
前期末残高	188,808	108,688
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△13,122	△25,513
当中間期変動額合計	△13,122	△25,513
当中間期末残高	175,686	83,175
新株予約権		
前期末残高	—	57
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	19	36
当中間期変動額合計	19	36
当中間期末残高	19	94
少数株主持分		
前期末残高	14,944	16,549
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	791	698
当中間期変動額合計	791	698
当中間期末残高	15,735	17,248
純資産合計		
前期末残高	784,200	717,391
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,453	11,729
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	21	77
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△12,311	△24,777
当中間期変動額合計	1,367	△17,795
当中間期末残高	785,567	699,595

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

6. 中間財務諸表

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年 9 月 30 日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年 3 月 31 日)
資産の部		
現金預け金	294,143	283,433
コールローン	1,708	185,000
買入金銭債権	112,127	142,964
特定取引資産	67,000	69,028
有価証券	2,126,030	2,199,444
貸出金	6,083,475	5,941,866
外国為替	8,801	3,947
その他資産	52,619	62,044
有形固定資産	56,017	55,160
無形固定資産	17,806	16,422
支払承諾見返	97,770	120,456
貸倒引当金	△55,934	△53,310
投資損失引当金	△57	△64
資産の部合計	8,861,511	9,026,395
負債の部		
預金	6,906,601	6,977,597
譲渡性預金	202,970	343,530
コールマネー	293,444	164,423
債券貸借取引受入担保金	134,173	58,501
特定取引負債	27,658	31,724
借入金	260,336	321,788
外国為替	144	285
社債	116,070	150,112
その他負債	104,025	100,532
未払法人税等	10,685	12,398
リース債務	228	—
その他の負債	93,111	88,133
退職給付引当金	22,225	22,484
睡眠預金払戻損失引当金	1,067	928
偶発損失引当金	821	445
繰延税金負債	16,332	37,337
支払承諾	97,770	120,456
負債の部合計	8,183,642	8,330,148
純資産の部		
資本金	90,845	90,845
資本剰余金	54,889	54,884
資本準備金	54,884	54,884
その他資本剰余金	5	—
利益剰余金	460,439	453,369
利益準備金	90,845	90,845
その他利益剰余金	369,594	362,524
固定資産圧縮積立金	2,277	2,309
特別償却準備金	0	1
特別積立金	348,700	333,700
繰越利益剰余金	18,615	26,514
自己株式	△12,378	△12,163
株主資本合計	593,796	586,936
その他有価証券評価差額金	83,967	109,470
繰延ヘッジ損益	9	△218
評価・換算差額等合計	83,977	109,252
新株予約権	94	57
純資産の部合計	677,868	696,247
負債及び純資産の部合計	8,861,511	9,026,395

(2)【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)
経常収益	109,447	101,537
資金運用収益	84,716	83,004
(うち貸出金利息)	60,473	61,373
(うち有価証券利息配当金)	21,786	19,032
信託報酬	0	0
役務取引等収益	13,064	12,268
特定取引収益	1,251	925
その他業務収益	2,094	2,790
その他経常収益	8,320	2,549
経常費用	76,548	82,485
資金調達費用	24,348	18,888
(うち預金利息)	13,610	11,671
役務取引等費用	3,796	3,860
その他業務費用	1,150	2,846
営業経費	40,201	41,256
その他経常費用	7,050	15,633
経常利益	32,899	19,051
特別利益	190	0
特別損失	1,778	513
税引前中間純利益	31,312	18,538
法人税、住民税及び事業税	13,275	11,359
法人税等調整額	△1,010	△4,428
法人税等合計	—	6,930
中間純利益	19,047	11,607

(3) 【中間株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	54,884	54,884
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	54,884	54,884
その他資本剰余金		
前期末残高	52	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	7	5
当中間期変動額合計	7	5
当中間期末残高	60	5
資本剰余金合計		
前期末残高	54,937	54,884
当中間期変動額		
自己株式の処分	7	5
当中間期変動額合計	7	5
当中間期末残高	54,944	54,889
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金		
前期末残高	2,321	2,309
当中間期変動額		
固定資産圧縮積立金の取崩	△31	△31
当中間期変動額合計	△31	△31
当中間期末残高	2,289	2,277
特別償却準備金		
前期末残高	4	1
当中間期変動額		
特別償却準備金の取崩	△1	△0
当中間期変動額合計	△1	△0
当中間期末残高	2	0
特別積立金		
前期末残高	308,700	333,700
当中間期変動額		
特別積立金の積立	25,000	15,000
当中間期変動額合計	25,000	15,000
当中間期末残高	333,700	348,700
繰越利益剰余金		
前期末残高	36,631	26,514
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
固定資産圧縮積立金の取崩	31	31
特別償却準備金の取崩	1	0
特別積立金の積立	△25,000	△15,000
中間純利益	19,047	11,607
当中間期変動額合計	△11,585	△7,898
当中間期末残高	25,045	18,615

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
利益剰余金合計		
前期末残高	438,502	453,369
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,047	11,607
当中間期変動額合計	13,381	7,069
当中間期末残高	451,883	460,439
自己株式		
前期末残高	△9,439	△12,163
当中間期変動額		
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	13	71
当中間期変動額合計	△115	△215
当中間期末残高	△9,555	△12,378
株主資本合計		
前期末残高	574,845	586,936
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,047	11,607
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	21	77
当中間期変動額合計	13,272	6,860
当中間期末残高	588,117	593,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	188,469	109,470
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△13,027	△25,503
当中間期変動額合計	△13,027	△25,503
当中間期末残高	175,441	83,967
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	153	△218
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2	227
当中間期変動額合計	2	227
当中間期末残高	156	9
評価・換算差額等合計		
前期末残高	188,623	109,252
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△13,025	△25,275
当中間期変動額合計	△13,025	△25,275
当中間期末残高	175,597	83,977
新株予約権		
前期末残高	—	57
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	19	36
当中間期変動額合計	19	36
当中間期末残高	19	94
純資産合計		
前期末残高	763,468	696,247
当中間期変動額		
剰余金の配当	△5,666	△4,537
中間純利益	19,047	11,607
自己株式の取得	△129	△287
自己株式の処分	21	77
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△13,006	△25,238
当中間期変動額合計	266	△18,378
当中間期末残高	763,734	677,868

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。